

第 25 回 全国健康保険協会千葉支部 健康づくり推進協議会概要報告

開 催 日	令和 6 年 11 月 14 日（木） 14：00 ～ 15：45
開 催 場 所	日本生命千葉駅前ビル 4 階 千葉支部 大会議室
出 席 者	学識経験者 2 名、行政代表 2 名、 保健医療関係者 1 名、関係団体代表 1 名（順不同）
議 題	1. 令和 5 年度千葉支部事業報告について 2. 令和 6 年度千葉支部行動計画について 3. 令和 5 年度千葉支部の医療費・健康結果の現状評価について
議 事 概 要 （主な意見等）	事務局より、各議題について説明を行った。 各委員からのご意見等は以下の通りである。 1. 令和 5 年度千葉支部事業報告について 【学識経験者】 事業者健診データ取得勧奨業務について、令和 5 年度は委託業者のトラブルがあり、開始が遅れたとの話があったが、令和 6 年度の状況はいかがか。 【事務局】 令和 6 年度については、予定通り進んでいる。月 1 回で委託業者との定例会を実施し、業務の進捗確認をしている。 【学識経験者】 保健事業の勧奨業務の対象者の多数が電話勧奨だが、電話に出る人は減っていないか。 【事務局】 つながらない件数が多い。要因として、規模が小さい事業所だと登録の電話番号が個人の携帯電話番号のケースが多く、電話をかけても知らない番号からの着信のため、出でいただけないということが考えられる。 【保健医療関係者】 個人の携帯電話番号であれば、ショートメッセージはいかがか。 【事務局】 貴重な意見として、承る。

【保健医療関係者】

新規透析者数の抽出方法について、健診を受けていない者は含まれているか。

【事務局】

レセプトデータから抽出しており、健診を受けていない者も含まれる。

【保健医療関係者】

健診受診者や受診勧奨を行った者のみで抽出できれば、千葉支部が行っている事業の結果がわかるのではないか。

【事務局】

対象者については、2 型糖尿病等のあくまで生活習慣に起因した疾病により人工透析になった者であり、それらを抽出するためにレセプトを一件ずつ確認を行う等、時間と労力がかかってしまった。健診の受診歴等の確認については行っていない。

【保健医療関係者】

生活習慣病予防健診実施機関は年々増加しているが、それに伴い受診者数は増えているのか。

【事務局】

年々生活習慣病予防健診の受診者数は増えている。

【保健医療関係者】

地域によって、健診に対しての意識が違っていると感じている。特に千葉県内でも南側の地域に関しては巡回健診を行っても反応が悪い。生活習慣病予防健診実施機関を南側の地域でも増やせたらいいのではないかと思う。

【事務局】

引き続き、生活習慣病予防健診実施機関を増やすための取組を進めていく。

【保健医療関係者】

被保険者の特定保健指導の対象者について、平成 30 年度から生活習慣病予防健診受診者のうち特定保健指導の対象者率が毎年 12%～13%と変化をしていないが、特定保健指導は効果が出ているのか。また、指導者のモチベーションはいかがか。

【事務局】

特定保健指導を受けて改善した方が増えても、新規で特定保健指導の対象者となった方もいるので、対象者率に変化がないと考えられる。特定保健指導を受けた者は体重、腹囲とも

に数値がよくなっているというデータもあるので、指導者のモチベーションが下がることはない。特定保健指導をしていなければ、対象者率はもっと上がっていたと考えられるので、変化がないということは、成果が出ていると判断できる。

【学識経験者】

特定保健指導対象者の内訳（新規・継続）や勧奨業務に対しての効果等、ポイントを絞って分析をしてほしい。また、健診実施率や特定保健指導実施率が低い加入者 100 人以上の大規模事業所に出向いて説明をするなど、ターゲットを絞った対応はいかがか。

【事務局】

大規模事業所に訪問して話を伺ったところ、拠点がバラバラなので集約が難しいという話があったが、引き続き、大規模事業所等訪問を行っていきたい。

【学識経験者】

特定保健指導が 2 年連続該当となると断られるケースがあるのでないか。

【事務局】

実際に連続で対象となる方は断られることは多い。より成果の出る特定保健指導を行うことで、引き続き対象となるケースを減少したい。

【保健医療関係者】

健診機関と連携して特定保健指導を促すのはいかがか。例えば、保健師だけが促すのではなく、医師にも協力してもらい問診等でお声がけをしてもらえれば、本人の行動変容につながるのではないか。また、毎年案内を続けることで、対象者本人も納得し受けていただけるのではないか。

【事務局】

受診勧奨含め、健診当日の案内を健診機関に協力を仰ぎたい。

2. 令和 6 年度千葉支部行動計画について

【保健医療関係者】

健診を受けっぱなしにしないよう訴えるポスターを作成して健診機関へ配布するのはいかがか。

【事務局】

現在、「健康づくりサイクル」と称して健診の受診からその後の行動を繰り返し行いましょうといった広報のパンフレットやポスターを作成中であり、健康保険委員会を中心に関係各局に配布する予定である。健診機関に対しても配布することとしたい。

【学識経験者】

重症化予防について、令和 6 年度から被扶養者、事業者健診に対しても勧奨を行うこととなっていたが、当事者は健診結果が協会けんぽへ送られていることを知らずに、受診勧奨の案内が届いてしまうのではないかと懸念されている。

【事務局】

健診受診から特定保健指導、受診勧奨までのサイクルなど、加入者に対し協会が実施している事業についての更なる周知が必要と考える。

3. 令和 5 年度 協会けんぽ千葉支部の医療費・健診結果の現状評価について

【学識経験者】

銚子市は塩分摂取率が多いという話を聞くが、そこまで健診結果が悪くないように見える。

【事務局】

確かに銚子市民は血圧は高いが、医療機関の受診率が高いので重症化していないと考えられる。

【学識経験者】

歯科に関して、他支部で実施していない事業を試みてはいかがか。例えば、生活習慣病予防健診と歯科検診を同時実施するといったのはいかがか。

【学識経験者】

歯科検診で咀嚼が悪いことがわかるのか。噛めないのは歯が悪いからなのか。

【事務局】

歯科医師会に訪問した際に、噛めない原因についてお伺いしたが、原因は不明とのこと。

【学識経験者】

原因を追究したうえで事業内容を考えていく方向性がよいと思う。原因を調査するとしたら方法はいかがか。

【事務局】

咀嚼に関しては自己申告のため、申告した者にアンケートを実施する方法になるかと思う。また、咀嚼に関して独自で研究をしている民間事業者である（株）ロッテとも協力して、原因や改善方法を模索していきたいと考えている。

【行政代表】

顔の見える地域ネットワークについて、具体的にどこに訪問をしているか。

【事務局】

県内の各商工会議所に訪問し、コラボヘルスの説明を行ったり、健診結果がよろしくない
運送業の関係団体（トラック協会やタクシー協会）を訪問し、受診勧奨や広報の協力依頼を
行っている。

特 記 事 項

・次回は令和 7 年 2～3 月に開催予定。